

第7回議会運営委員会会議録

- 1 開会日時 平成27年4月24日（金）午後2時28分
- 2 閉会日時 平成27年4月24日（金）午後2時39分
- 3 会議場所 議会委員会室
- 4 出席委員
4番 保田 守君 6番 治徳 義明君 7番 原田 素代君
10番 北川 勝義君 11番 福木 京子君 13番 岡崎 達義君
14番 下山 哲司君 17番 金谷 文則君
- 5 欠席委員
な し
- 6 事務局職員出席者
議会事務局長 富山 義昭君 主 幹 黒田 未来君
主 査 青木 智彦君
- 7 協議事項 1) 一部事務組合議会議員の推薦について
2) その他
- 8 議事内容 別紙のとおり

午後2時28分 開会

○委員長（下山哲司君） はい、みなさんご苦労様です。ただいまから第7回議会運営委員会を開会いたします。協議事項につきましては、先ほどの一部事務組合の割り振りについて再検討をお願いしたいと思います。先ほど全協の中で、厚生常任委員長のほうからお話がございました、小田議員の和気・赤磐し尿処理施設一部事務組合議会議員の件についてを議題として、協議をお願いしたいと思います。まず、原田議員説明をお願いいたします。

○委員（原田素代君） 再度確認させていただきますが、小田議員のほう在和気・赤磐し尿処理の事務組合に引き続き残留を希望されているということで、先ほど私のほうが十分にそれを了解してなかったものですから、治徳さんが再三にわたって大丈夫ですか、という確認をいただきながら私は了解ないままにその旨伝えておりました。で、先ほど小田さんのほうからそういう申し出がありまして、ここでぜひお願いをしたいことは、治徳委員のほうで小田さんと、小田さんのほうが受けることについておひきいただけるかどうかということをおひきいただきたくてお諮りしていただきたいと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。

○委員（北川勝義君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） そんな勝手なことおえん。これは各委員会で1人ずつそこへは出しているんじやから。それで議長枠は別で、産建で2人出とるだけのこっちゃから。もしなかったら、厚生委員会の中でかわらにゃあおえんし、そうなったら原田さんがのうなる。のうなったら今度は逆にいうたら和気老人ホームとかそこんところを動いてもらうとか、1人。そうせなんだらできん。これを勝手に動かされたら、再度いうて。これ決まっとることにしてもらわなんだら、前例で議運を1日にこんなことで開くことはねえです。議長はつきりいうて、ねえけどなっとるということになりゃあ言われようからしてあげりゃあええんじやけど、ほなどっかの人をとってくるようになったら佐藤さんでも北衛降ろしとるいうのもあるんじやから、これは言うちやあわりいけど、金谷議長は議長になったから別じやけど、東備農業共済でも監査受けとんに降りてもらおうようなことになって、あるわけじや。じゃけえやっぱりこの中のことを考えたら、僕らどうこう言いてえことねえ、これをしてもらわなんだら全部決まりがつかんので、で今原田さんの出とる役をとっちゃれえいう話じやねえ、とったら原田さんそこへ誰がもっていつちやらにゃあおえんいうのは、いろいろちやらにゃあおえんのんじや、そりやどうしてもそりやいらわにゃあおえんからな。そりやわかるんじや、そういうことはな。そこんところはやっぱり考えてほしい、うちでも向こうへもっていけえ言うたのを仕方ねえ言うてもっていっとりますけえな。かわっちゃるかなんかしちやらなんだら、形はつかんよ。

○委員（原田素代君） その前に治徳さんのほうからちょっと……。

○委員長（下山哲司君） いや、そういう問題じやなしに……。

○委員（原田素代君） 経緯を。

- 委員（北川勝義君） そんな勝手な……。僕はそれで終わります。そういうことです。
- 委員長（下山哲司君） あの……。
- 委員（治徳義明君） すいません、委員長。
- 委員長（下山哲司君） 治徳委員。
- 委員（治徳義明君） 要は私もすべて知っとるわけではなしに、そういう話をちらっとされたんで、先ほどの議運の中で、厚生は厚生のご希望をいう形の中で私は再三、小田さんも含めてびしとお話し合いをすんどることなんで、もうそれ以上言ってもらっても困りますいうことで私も受けさせていただいたというのが1つ経緯があります。それと、先ほど北川委員さんが言われた一部事務組合が各委員会1人ずつという前提があるのであれば、やっぱりちょっと考えなきゃいけない部分なんだろうと思ってます。その上で、みなさんご了解であれば私はひくことは別段構いませんけれども、はい。
- 委員長（下山哲司君） 北川委員。
- 委員（北川勝義君） 僕は承服しませんので、議運を退席させてもらいます。こんなことで議運をされてざまの悪い話で、やっときょうは議運でもスムーズな委員長、副委員長もびしと決められたんじゃないけど、こんな船出しようたら金谷、岡崎体制やこいっこもいきゃあへん。僕もおえんことはおえんで指摘してやるんじゃないけど。これだけはなやっぱりあの、勝手に治徳さんひくとかひかんの話じゃのうて、どこのポジション、最初あなたがそこにいく言うたんじゃ。それをたとえば下でも共済抜いてそれさすんじゃないとか、たとえば共済おらんからいうて農業共済、産業おらんからいう話になりましたがんさっき。何のために練りよったんかわからんからな、もうやっぱり……。
- 副議長（岡崎達義君） 各委員会から1人ずつ出るいうことになれば……。
- 委員（治徳義明君） ですから、北川委員が言われてるように……。
- 委員（北川勝義君） その中でしたときに、いうのはやっぱりポジションをかえていきようるときじゃけえ考えてあげなんだらいいけんのんじゃないかねえかいうのを言いたかったんですよ。それを勘違いじゃとか、先ほど休憩室で言ようったがな、私じゃったら突き進むんじゃないいうて言うた。そんなことはやれえとか言よんじゃないかねえ、議運を1日におんなじことで2つ開くいうようなことはねんじゃ、はっきり言うて。じゃから今言いてえのは、これで辛抱してもらうか、そりゃちょっと勘違いがあって、ほな私はひかしてもらうけどうちの厚生の中ですので、そのかわり厚生私のがのうなるけえどっか1個ください言うんならどっかでも、いう話にならんたらおかしゅうなるいうことを言ようるわけ。
- 委員長（下山哲司君） 委員長としての見解を申し上げさせてもろうてよろしいですか。
- 委員（原田素代君） はい。
- 委員長（下山哲司君） 先ほどの議会運営をやっていく中で、委員長としての見解としましてはですね、厚生の中だけで話をつけていただきたいと、いうふうに思います。

○委員（原田素代君） はい。

○委員長（下山哲司君） まず、先ほど時間をとってきちっとみなさんいろいろご協議をいただいた中で、それまでに委員長なりが決まっとったわけですから、委員長なりに申し出をしていただいとくとか、それから各常任委員長からお話があったときにきちっと出とれば、そういう不手際とかいう問題もありますけど、そういうことがなかって一応あれができた範囲の中で皆さんにご理解をいただかにはいけん議長の立場として、議運の委員長としては変更ある場合は委員会内だけで変更していただきたい。私はそう思いますのでご協力をお願いしたいと思います。

○委員（原田素代君） 一言言わせてください。

○委員長（下山哲司君） はい、原田委員。

○委員（原田素代君） 要するに1つの一部事務組合議会の中にできれば各委員会から1人ずつということですが、総務文教の中においては、2人なり3人なりという重なった形での配置もありますし、それが前例にはならないということがまず1つと、それから案として議論をさせていただいたと私は了解をしていたので、小田さんのほうから私が不十分な確認だったことについて申し出があったことについては、じゃあ全協の中で案についてまたさらに調整ができるというふうに私は理解をしておりました。で、どうしても委員長のほうの意向で委員会の中で処理しろと言われれば、私はそれを受け入れますが、ただその際先ほどから言っている治徳さんと小田さんとの事前の話し合いがあったらしいことを私は存じあげなかったもので……。

○委員（治徳義明君） 事前の話し合いなんかありません。

○委員（原田素代君） ちょっと待ってください、まだ話してますから言わせてください。ですからその3つのことについて私はちょっと承服はしかねるんですが、あくまで私は委員長の決定には従いますので、委員長がそのようにしろとおっしゃるのであれば、私が和気・赤磐し尿処理をひいて、小田さんをお願いします。それで結構です。

○委員（治徳義明君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 治徳委員。

○委員（治徳義明君） 先ほど原田委員さんのほうから事前の話し合いというような話がありました。事前の話し合いは一切ありません。それと先ほどの議運の中で、下山委員長さんのほうが、各委員会の話し合いの案を優先して決めていきます言うて、委員長がはっきり言うた上でのご発言だったんで、私は何度か確認をさせていただいた上で、ちらっと聞いてた、小田さんがちょっと希望されてるということで、ひかれる人は何人もいらっしゃるんですけども、あ僕がひかせてもらおうかなと思った程度の話なんで、その辺を理解してください。先ほどの議運の中では下山委員長さんが厚生委員会、総務委員会、産業建設の希望を聞いてそれを最優先しますという話の中で、いうことなんでちょっとご理解をいただきたいと思います。

○委員（原田素代君） わかりました。

○委員（治徳義明君） 私がどうのこうのというの、ちょっとつらいんで、僕が我をはってどうのいう話じゃありません。

○委員長（下山哲司君） 議運の委員長としての扱いとすれば、各委員長さんの御意見を聞いて配分をしたわけですから、その枠を変更するということはちょっと議運としては正しいとは思いません。ですから厚生委員会の中で変更させろというのであれば、それは委員長のまた権限ですからそれでやっていただければええと思うんですが……。

○委員（原田素代君） 結構です。小田さんに受けてもらいますから。

○委員長（下山哲司君） 原田委員が小田さんに回して、丸山さんが1つどちらかを……。

○委員（原田素代君） いえいえ、他はいじりません。

○委員長（下山哲司君） いじりません。はい。それではそういうことで決定してよろしいですか。

○委員（原田素代君） ただ、私は先ほど申したように私としてはちょっと承認しかねますがという意見だけは……。

○委員長（下山哲司君） いや、1つだけはっきり言わせてもらいますが、各常任委員長さんの御意見を聞いて先ほどやらせていただいたんで、それが他の人から言われるんならまた別ですが、その担当委員長からそう言われたんじゃあ、議会運営委員会の形として成り立ちませんので、その辺はよく理解してください。

○委員（原田素代君） ですから、結果は受け入れます。

○委員長（下山哲司君） はい。それでよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） それでは、第7回議会運営委員会を終了いたします。ご苦勞様でした。

午後2時39分 閉会